

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
東京ベルエポック美容専門学校	平成20年10月31日	川戸 功一	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目24番16号 (電話) 03-5658-9090																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
文化・教養	文化・教養専門課程	ヘアメイク科	平成31年文部科学省告示号外第15号	-																											
学科の目的	クライアントの要望を的確に把握し、対応できる技術とともに、流行を敏感に察知でき、美容業界で活躍できる人材になる。																														
認定年月日	平成29年4月1日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	昼間	114単位	64単位	160単位	0単位	0単位	0単位																								
単位																															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
150人	181人	0人	6人	21人	27人																										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: 評価はA・B・C・D・E・Fで行い、D以上で合格とする。但し、学校長が必要と認めた場合にはこれら以外の表記で成績を表すことができる。評価方法の詳細については別定める。 評価の方法: 定期試験及び臨時試験(論文・レポートを含む)、平素の学習状況、出席の3要素で評価する。																											
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月第4週～8月第4週 ■冬季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第4週		卒業・進級条件	学校長及び学校長が指名した者により構成される卒業進級判定会議を開催し、成績評価のD以上の者を合格とし進級、卒業を認定する。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別カウンセリング、保護者連携		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア・学園祭等の実行委員会・学生スタッフ活動 アシスタント現場活動・学校行事実行委員会 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)																											
就職等の状況	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) ヘアメイク事務所、美容室、アイラッシュサロン ■就職指導内容 業界・企業によるセミナーを実施し、個別面談を通して一人ひとりの希望にあった求人を紹介、指導 ■卒業生数 : 73 人 ■就職希望者数 : 62 人 ■就職者数 : 62 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 84.4 % ■その他 ・進学者数: 2人 ・留学生(帰国): 1人 (令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCメイクアップアーティスト検定</td> <td>③</td> <td>73人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>JNECネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>73人</td> <td>66人</td> </tr> <tr> <td>審付け(初伝中伝)</td> <td>③</td> <td>73人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>おもてなしマスター検定</td> <td>③</td> <td>70人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>67人</td> <td>64人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 在学中からヘアメイクでのクレジット掲載				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCメイクアップアーティスト検定	③	73人	73人	JNECネイリスト技能検定3級	③	73人	66人	審付け(初伝中伝)	③	73人	71人	おもてなしマスター検定	③	70人	70人	色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	67人	64人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
JESCメイクアップアーティスト検定	③	73人	73人																												
JNECネイリスト技能検定3級	③	73人	66人																												
審付け(初伝中伝)	③	73人	71人																												
おもてなしマスター検定	③	70人	70人																												
色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	67人	64人																												
中途退学の現状	■中途退学者 12名 ■中退率 6.5% 令和3年4月1日時点において、在学者185名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者173名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 目的意識喪失、進路変更、コロナ禍での帰国 他 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 中退防止:学生サポートアンケートによる個々の状況把握、個別カウンセリング実施、カウンセラー配置 中退者支援:転校・転科支援																														
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 希望者に対し特待生試験を実施し、採用者には授業料の一部を減免している。また、グループ校卒業生・兄妹姉妹グループ校卒業生に対し初年度のみ授業料10万円免除している。(家庭の経済状況は考慮していない) ■専門実践教育訓練給付: 非給付 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.tbe.ac.jp/course/haimeike">https://www.tbe.ac.jp/course/haimeike</a>																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。現場経験、講師経験豊富な企業と連携し教育を提供。カリキュラム、授業手法等、教材作成等の助言の協力が得られる体制がとれる企業を選定。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実践するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記されている。これらに基づき、カリキュラム検討会議で審議し、学校長許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月31日現在

名前	所属	任期	種別
鳥塚 ルミ子	一般社団法人 国際オーガニックセラピー協会 理事長	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	①
秋山 貴和子	株式会社Smart1Beauty 代表取締役	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	③
岩崎 誠	有限会LesAngeS 代表取締役	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	③
古島 暉大	学校法人滋慶学園 常務理事	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	
川戸 功一	東京ベルエポック美容専門学校 学校長	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	
岩村 勇	東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	
中村 聖之	東京ベルエポック美容専門学校 事務局長	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	
小泉 哲郎	東京ベルエポック美容専門学校 学部長	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時)

2021年度 第1回 令和3年 6月11日 10:00～12:00(実施)

2021年度 第2回 令和3年10月21日 10:00～12:00(実施)

2022年度 第1回 令和4年 6月15日 10:00～12:00(予定)

2022年度 第2回 令和4年10月28日 10:00～12:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

時代に即した人材育成が重要であり、多様化した現場が増えていることから技術知識はもちろん柔軟性のある教育が必要である。「メイクアップ」授業にて基礎から応用、「特殊メイク」授業では老いや傷など、どんな現場にも対応しうる教育を行う。また「スチームヘアメイク」授業ではスタジオからロケまで多様な現場で柔軟に対応できるヘアメイク術を習得し時代に沿った学生キャリア教育と同時に作品を多く生み出す創造性を養う。委員の改善案については、カリキュラム会議を学内で実施・決定後、教育課程編成委員会にて共有、ご意見を頂戴しながら実施していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、業界と連携し、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。そのため、特に演習科目においては現場で活躍するプロが講師として授業を行っている。卒業後即戦力として活躍できる人材を養成するための授業内容を、業界関係者とともに企画立案・実施達成度評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。

連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクアップ総論Ⅰ (1年次前期)	メイクの基礎を習得し、モデルに合わせた補正メイクができるようになる。また技術を施す上でモデルへの配慮を学ぶ。	有限会社ビアルケミスト
アシスタント プログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるために技術・知識を身に着ける	株式会社ビーサイド
スチールヘアメイクⅡ (2年次後期)	ヘアメイクの職業に就くに辺り、必要なヘアメイク技術・知識を習得する。基礎的な技術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。	株式会社テーブルカンパニー
美容総合技術 (2年次後期)	サロンワーク系技術を中心に、作品撮りに必要なヘアメイク、ファッション、空間作りを学ぶ。	有限会社ファンタジスタ
メイクアップ総論Ⅱ (1年次後期)	似合うメイクを提案できるようになる。全日本化粧品販売員検定ブロンズ合格を目指す。	一般社団法人 コスメティックアクターアカデミー 全国化粧品販売検定協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

指導力の修得・向上のための研修等として、滋慶教育科学研究所が実施する研修にて1年目向け、2～3年目向け、4～5年目向け等、段階を踏んで計画的に参加をしている。また専攻分野における実務に関する研修等に関しては担当する教員が最新の情報、技術が得られるよう研修に参加することを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

専任職員を対象に年2回のヘアメイク専門分野の研修を受講している。2021年度は株式会社スーパーモード社と連携し、ヘアメイク技術の習熟度を測るための検定試験に関する技術・知識の教授ポイントに関する研修を受講した。

- 研修名: JESCメイク認定講師研修
- 研修講師: 野田 由紀子
- 連携企業等: 株式会社スーパーモード
- 期間: 2021年6月30日(火)
- 対象: 専任教員

- 研修名: メイクブランドセミナー
- 研修講師: 野田 由紀子
- 連携企業等: 株式会社スーパーモード
- 期間: 2022年1月25日(火)
- 対象: 専任教員

## ②指導力の修得・向上のための研修等

### <学内研修>

#### ■教務研修

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：3月、4月、6月、9月、10月、12月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：教務研修各時期に応じた学生支援についての研修  
3月：学内ルールの徹底ならびに学習動機付けの方法、4月：連休明け学生モチベーション向上対策、  
6月：アングーマネージメント研修（外部招聘講師）

#### ■講師研修

- ・年間2回の講師研修を実施（実施月：5月1・2日（2日間）、8月18日）
- ・対象：全講師
- ・内容：学科の養成目的に合わせた教授内容の確認  
4月：年間授業構成と教授内容の確認（実技内容の確認を含む）  
8月：国家試験対策の方針と内容確認

### <学外研修>

教授力、指導力の向上を目的とする研修については一般財団法人 滋慶教育科学研究所と連携し、個々の教育経験、在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた教職員の研修を行い、研究にも参加している。

- ・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、6月、7月、9月、10月、12月、1月）
- ・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施
- ・内容：職位別教授技法研修  
3月：FDマイクロレベル研修（新入職員対象）、6月：FDミドル研修（学科責任者対象）、  
7月：FDマクロレベル研修（教育責任者対象）、9月：カウンセリング研修（新入職員・入職2年目職員対象）

## (3) 研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

専任教員を対象に新型コロナウイルスに端を発したヘアメイク業界の業務手法の変化に対応するため、ICTを活用した遠隔での業務履行に対応できる方法を身に付け、学生への専門教育に役立てるための研修を計画している。

#### ■研修名：ICTミラーを使用したデジタルカウンセリング研修

- 講師：成田 秀基
- 連携企業等：株式会社ミラーロイド
- 期間：令和3年6月10日（木）
- 対象：専任教員
- 内容：最新美容ミラー「ミラーロイド」を使用した次世代カウンセリング手法を学ぶ

## ②指導力の修得・向上のための研修等

### <学内研修>

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：3月、4月、6月、9月、10月、12月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：各時期に応じた学生支援についての研修
- ・受講研修一覧
- 夏休み明け学生モチベーション向上について  
期間：令和3年9月12日  
講師：中村聖之（東京ベルエポック美容専門学校 事務局長兼教務部長）  
本校受講教員：16名  
内容：夏休み明け学生支援・援助方法についての検討
- 学生指導におけるコーチング方法1  
期間：令和3年10月3日  
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）  
本校受講教員：16名  
内容：共生コーチングによる人的支援方法を学ぶ
- 学生指導におけるコーチング方法2  
期間：令和3年11月21日  
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）  
本校受講教員：16名  
内容：学生支援におけるコーチングの活用方法と実務方法について学ぶ

<外部研修>

一般社団法人 滋慶教育科学研究所と連絡し、教授方法、学生支援・指導方法に関する種々の研修に参加をしていく。

・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、6月、7月、9月、10月、12月、1月）

・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施

・主催：滋慶教育科学研究所

・受講研修一覧

カウンセリング研修(1次)

期間：令和3年9月14日～15日

対象：新入職員・本校受講教員：1名

講師：滋慶学園グループ教職員カウンセリング運営委員会認定講師並びに

スクールカウンセラー(総勢20名)

内容：カウンセリング概要、カウンセリング基本、カウンセリング技術、カウンセリング演習

上記各項目について学ぶ

筆記試験により合格者には認定教員カウンセラー(1次)のディプロマが付与される。

カウンセリング研修(2次)

期間：令和3年9月15日

対象：入職1年目職員・本校受講職員：1名

講師：滋慶学園グループ教職員カウンセリング運営委員会認定講師並びに

スクールカウンセラー(総勢18名)

内容：カウンセリング実務、ケーススタディについて学ぶ

筆記試験並びに小論文により合格者には認定教員カウンセラー(2次)のディプロマが付与される。

FDマイクロレベル フォローアップ研修

期間：令和3年10月19日

対象：入職2年目職員・本校受講職員：1名

講師：滋慶グループFD委員会認定講師並びに認定教員

内容：社会からの信頼に応えることの出来る職業人教育の構築と実践のために、  
教職員の教育力とマネジメント力(マインド・知識・スキル・コンピテンシー)の  
組織的な向上を醸成する。

滋慶教育科学学会

期間：令和3年12月7日

対象：全教務職員・本校受講者：5名

内容：教育実務に関する研究発表6題、教育実務に関する実地報告28題

上記発表を聴講することで教育実務改善に努める。

FDマイクロレベル レベルアップ研修

期間：令和4年1月18日

対象：入職2年目職員・本校受講職員：1名

講師：滋慶グループFD委員会認定講師並びに認定教員

内容：社会からの信頼に応えることの出来る職業人教育の構築と実践のために、  
教職員の教育力とマネジメント力(マインド・知識・スキル・コンピテンシー)の  
組織的な向上を醸成する。

国家試験対策研修会

期間：令和4年1月30日

対象：国家試験受験学科教員・本校受講職員：5名

講師：滋慶学園国家試験対策センター長 稲岡隆輔

内容：国家試験100%合格に向けた学生支援についての分析・手法を身に付ける。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

評価の内容を審議・評価することを通して、学園の理念でもある4つの信頼(学生、保護者、高校、業界、地域)に基づく、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	理念・目的・育成人物像
(2)学校運営	学校運営、運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定
(3)教育活動	教育活動、目標の設定・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取
(4)学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連
(6)教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ、学生募集活動、入学選考、学納金
(8)財務	財務、財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	法令等の遵守、関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、国際交流、ボランティア活動
(11)国際交流	(10)に含む

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より当学科は技術や知識をもちろん、コロナ感染拡大防止への関心と対策が必須との要望を受け、各導入教育への追加、実習授業、外部実習等の見直し・対策を立て取り組む。またセルフプロデュース力の向上、IOTの導入において職業意識をもって行動できるようにすべての授業において人間教育を軸に特異性をしていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月31日現在

名前	所属	任期	種別
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール・ ジャポン株式会社 営業本部リテール ヒューマン リソース マネージャー	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	業界団体
浅川 潤一	千葉商科大学付属高等学校学校長	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	高校関係
空田 真之	江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 代表取締役	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	地域関係
森光 和美	株式会社トニーアンドガイジャパン スタイリスト	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	卒業生
櫻井 あゆみ	保護者代表	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

<https://www.tbe.ac.jp/wp-content/themes/BSC-2018/images/school/info-2020/gakko-hyoka/hyoukaiin.pdf>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業生の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。

企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員との間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出た意見を実行案へと反映させている。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

<https://www.tbe.ac.jp/school/info>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ヘアメイク科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育※	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅰ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅱ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1後	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅲ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	2前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅳ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	2後	30	2	○			○		○		
		○	ビューティ技術論Ⅰ※	業界で活躍するプロから最新の技術を学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅱ※	業界で活躍するプロからヘアメイクを目指す上で、必要なスキルを学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅲ※	業界で活躍するプロのヘアメイクから感性を養い作品作りに活かせるようになる。	2前	30	2	○			○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅳ※	業界で活躍するプロのヘアメイク業界へ即戦力となる技術、知識を学ぶ	2後	30	2	○			○			○	
○			アシスタントプログラムⅠ※	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識を身に付ける。	1前	30	2	○			○			○	○
○			アシスタントプログラムⅡ※	ヘアメイク業界について学び、現場に応じた技術・知識を身に付ける。	1前	30	2	○			○			○	○
○			アシスタントプログラムⅢ※	ヘアメイク業界について学び、現場に応じた技術・知識を身に付ける。	2前	30	2	○			○			○	○



分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			おもてなし	接客業において必要なおもてなしの心を育む。おもてなしマスター検定に合格する。	1前	30	2	○			○			○		
○			グローバルサービス	日常英会話とビジネス英会話スキルを習得する。また韓国語も習得する。	1後	30	2	○			○				○	
○			メイクアップ I	道具の扱い方を覚えスキンケア、ベースメイクが出来るようになる。モデルに合わせた補正メイクが出来るようになる。	1前	60	4		○		○				○	
○			メイクアップ II	テーマに合わせたメイクアップ技術を学び、舞台メイクなどの技術が出来るようになる。	1後	60	4		○		○				○	
○			ヘアスタイリング I	ヘアスタイリングの基術が出来るようになる。イメージ別のヘアスタイルが作れるようになる。	1前	60	4		○		○				○	
○			ヘアスタイリング II	イメージに合わせたヘア技術と成人式のヘアスタイルが出来るようになる。	1後	60	4		○		○				○	
○			ネイルケア & アート	爪の構造や衛生管理の知識とともに、ネイルケア・カラーリングの技術が出来るようになる。ネイリスト技能検定3級に合格する。	1前	60	4		○		○				○	
○			着付け	着付けの基本技術を身に付け、自分で着物を着る、人に着物を着せることが出来るようになる。着付け(初伝・中伝)に合格する。	1前	60	4		○		○				○	
○			メイクアップ総論 I	メイク基礎を学びJESCメイクアップアーティスト検定に豪華うでけるようになる。	1前	60	4		○		○				○	○
○			メイクアップ総論 II	似合うメイクを提案できるようになる。全日本化粧品販売員検定ブロンズ合格を目指す。	1後	60	4		○		○				○	○
○			ヘアメイク I	年代別ヘアメイクを学ぶ事によりカルチャーを取り入れたデザインが出来るようになる。	1後	60	4		○		○				○	
○			ヘアメイク II	テーマに合わせたヘアメイク技術を短時間に仕上げる事が出来る。	2前	60	4		○		○				○	
○			ヘアメイク III	テーマに合わせたヘアメイク技術を短時間に仕上げる事が出来る。	2後	60	4		○		○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	ファッションコーディネーター	ブライダルにおける、ドレスフィッティング技術が出来るようになる。	2前	30	2		○		○			○	
○			デザイントレーニング	デザイン力と発想力を養いトータルコーディネーター力を身に付ける	2後	60	4	○			○			○	
○			スチールヘアメイクⅠ	スタジオ撮影に向けたヘアメイク技術を身につける。	1後	60	4		○		○			○	
○			スチールヘアメイクⅡ	外部撮影に向けたヘアメイク技術を身に付ける。	2前	60	4		○		○			○	○
○			スチールヘアメイクⅢ	多様な撮影環境でも対応できるヘアメイク技術を身につける。	2後	60	4		○		○			○	○
○			ブライダルヘアメイク	婚礼の形式やドレスに合わせたヘアメイク技術を身につける	2前	60	4		○		○			○	
		○	ブライダル総合※	ブライダルブーケや花を使ったヘッドピース作成が出来るようになる。	2前	30	2		○		○			○	
○			特殊メイクⅠ	傷や骨格補正藤の特殊メイクが出来るようになる。	2前	60	4		○		○			○	
○			特殊メイクⅡ	エアブラシの基本技術を学び、メイクやボディペイントに生かすことが出来る。	2後	60	4		○		○			○	
○			フェイシャルエステ	フェイシャルエステにおける、セッティング方法及びクレンジングやマッサージの基本手技を身につける。	2後	60	4		○		○			○	
○			美容総合技術	サロン系技術や知識を身に着けることができる。	2後	60	4		○		○			○	○
○			パーソナルカラーⅠ	色彩感覚を身につけ、パーソナルカラー検定3級に合格する。	2前	30	2		○		○			○	
○			デザインヘアメイク	創造したイメージをヘアメイクを通じてデザイン出来るようになる。	2後	60	4		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業制作	学習の集大成として修得したヘアメイク技術を駆使して作品を創りだす。	2後	60	4		○		○				○
		○	メイクアップ総論Ⅲ	様々なテーマやお客様の要望にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。	2前	60	4		○		○				○
		○	メイクアップ総論Ⅳ	年齢別、嗜好別にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。スチール撮影に適したメイク技術を習得する。	2後	60	4		○		○				○
		○	パーソナルカラー応用	色彩感覚を身に付ける パーソナルカラー検定対策	2前	60	2		○		○				○
○			ファッション総合Ⅰ	ファッションやパーソナルスタイリングの知識を得る	1前	60	4		○		○				○
		○	ファッション総合Ⅱ	ファッションやデザインについてコンセプトワークを習得する。	1後	60	4		○		○				○
		○	ファッション総合Ⅲ	スタイリングにあわせたテクニックを習得する。	2前	60	4		○		○				○
		○	ファッション総合Ⅳ	テーマにあわせてフィッティング技術	2後	60	4		○		○				○
		○	ヨガ	健康に基づく美容を学び、美容意識の向上とお客様に運動アドバイスが出来るようになる。	1後	30	2		○		○				○
		○	トータルメイク	様々なシチュエーションに合わせたメイク提案を学ぶ。	1前	60	4		○		○				○
		○	接客マナー	ビジネスマナー、接客マナーを習得する。即戦力となる対応を身につける。	2前	60	4		○		○				○
		○	ヘアメイクⅣ	最新のファッションや流行に合わせたヘアメイクのコーディネートができる。	2後	60	4		○		○				○
		○	スキンケアカウンセリングⅠ	お客様の肌質にあったカウンセリング技術と知識を学ぶ。様々な化粧品ブランドについて学ぶ。	1前	60	4		○		○				○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	スキンケアアカウンセリングⅡ	店頭で役立つテクニックと日本コスメティック協会対策カウンセリングロールプレイ	2前	60	4		○		○			○	
		○	スキンケアアカウンセリングⅢ	日本コスメティック協会対策カウンセリングロールプレイ	2後	60	4		○		○			○	
		○	トータルセールス	カウンセリングロールプレイ 店舗管理、販売テクニック	2後	60	4		○		○			○	
		○	セルフビューティー	自分自身を磨くセルフレッスン（スキンケア～メイク）	1前	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅰ	様々なブランドの特徴を学び、同時に発信力も身に着ける。	1後	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅱ	様々なブランドのコンセプトを理解し、ブランドマネジメントを身に着ける。	2前	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅲ	オリジナルのブランドを作成しコンセプトを提案、ブランドプロデュース力を身に着ける。	2後	60	4		○		○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅰ	エステとジェルネイル技術を習得する。	1後	120	8	○			○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅱ	心と身体を癒すアロマの知識を習得する。アロマセラピー検定1級対策。	2前	120	8	○			○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅲ	お手入れやコスメに対する正しい知識を習得する。美肌検定対策。	2後	120	8	○			○			○	
		○	トレンドメイクⅠ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定ブロンズ対策	1後	60	4	○			○			○	
		○	トレンドメイクⅡ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定シルバー対策	2前	60	4	○			○			○	
		○	パーソナルカラーⅡ	状況に応じた配色選択ができるようになる。	2後	30	2		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	パーソナルスタイリング	パーソナルスタイリストとして師知識向上。検定対策。	1後	60	4		○		○			○	
合計					科目数 65	最低履修	1,710単位時間( 114 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
定期試験及び臨時試験（論文・レポート含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。また、所定の教科科目及び所定の授業時間数【卒業認定要件：必修1,710時間（114単位）を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業を認定する。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週